

# 近畿税政連

〒540-0012 大阪市中央区谷町1丁目5番4号 電話(06)6944-9040 FAX(06)6944-9050  
URL <http://kinzeisei.jp/> e-mail [info@kinzeisei.jp](mailto:info@kinzeisei.jp)

令和2年(2020年)  
1月10日  
第245号



護王神社（京都市上京区）

撮影：東 智之（上京支部）

■ 一斉陳情	4
■ 第7回川柳・書道コンテスト受賞者発表	8



令和になり初めての正月を迎えた。税理士としてあつという間に11年間が過ぎ、12年目を迎える。時の流れの早さを改めて実感させられる一方でかなり濃い年月だったようにも思え、当たり前のように税理士として日々を過ごしていることに感謝の気持ちでいっぱいである。

先日、数年前に亡くなられた大先輩が機関紙に書かれた文章を改めて目にする機会があった。そこには、初めて税理士業界として本格的な政治活動に取り組んだ年のことが記されてあった。その内容は、昭和39年税理士法改正法案が第46回通常国会に提出された時のことである。その法案は税理士会が要望する内容と著しくかけ離れたものであったため、この法案を廃案とすべく税理士会は反対運動

をおこない日本税理士会連合会の多くの役員が公職選挙法違反で拘束される事態が発生したということであった。3年余りの反対運動の結果、昭和40年6月の第48回通常国会において廃案となった。そして反対運動がおこなわれている最中の昭和38年10月に全国納税者政治連盟が組織され、その後、組織強化を図る目的で改組し日本税理士政治連盟が結成された。

これが税政連の誕生の原点である。この原点に立ち戻り、なぜ税政連が必要なのか、何のために誰のために活動しているのかということを一人でも多くの会員に理解いただき、万里一空の境地で活動ができるようになれば税政連の組織拡大が図れ、これまで以上に税理士会の建議・要望の実現のために大きな力を発揮することが可能となるであろう。（副幹事長 道廣友厚）

## 「温故知新・原点回帰」



# 年頭のことば

## 三方よしの政策実現を!「社会によし、納税義務者によし、税理士によし」

新年あけましておめでとうございます。

会員・ご家族の皆様には穏やかで輝かしい令和初めてのお正月をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。昨年は天皇陛下がご即位され、即位の礼に始まり大嘗祭とご即位に伴う儀式が滞りなく執り行われましたことに、お祝いを申し上げるとともに、良き時代になることを祈念申し上げたいと思います。2020年はオリンピック・パラリンピックの年でもあります。日本選手の活躍を期待すると同時に、海外の選手にも惜しみない拍手を送りたいと今から心がワクワクしております。さらに2025年大阪・関西万博まで、連続して近畿全体の経済の盛り上がりに大いに期待したいと思います。

平素は、会員の皆様には近畿税政連の活動に温かいご理解とご支援を賜りましたことに厚くお礼と感謝を申し上げます。おかげさまで、税政連は、税理士制度の発展並びに税理士会の税制改正の建議項目の実現に向けて、昨年も一定の成果を挙げることが出来ました。

### 預かり税金である消費税

さて、昨年10月には軽減税率制度が導入されました。複数税率となるので区分記載請求書を交付すること、日々の取引で税率ごとに区分して記帳し、帳簿へ軽減税率であることの旨の記載が必要となり、事務的な負担が増加することになりました。

また、薄く広く課税するとされていた消費税率は2桁の時代に入りました。消費税は最終消費者からの預かり税金であり、私たち税理士は誤りのない申告に努めなくてはなりません。前事業年度末が簡易課税の不適用届等各種の届出書の提出期限とされているため、例えば個人事業者で年一（申告時のみ）の関与先では、届出を失念してしまうなど、業務の実情に合わないこととなっています。税の基本は簡素で公平でなくてはなりません。預かり税金である消費税がトラブルなく適正に納税されることが、納税義務者の信頼に応えることであり、この点からも消費税の届出について検討が必要だと考えています。

また、令和5年10月には適格請求書等保存方式（インボイス制度）の導入が予定され、多くの小規模事業者に大きな影響を及ぼすことになります。建議要望項目に「基準期間制度を廃止し、すべての事業者を課税事業者として取り扱い、新たに小規模事業者に対する申告不要制度を創設すること」としており、消費税法の根本的な見直しを強く要望していくたいと思います。

### 税理士による国会議員後援会に積極参加を!

昨年も各地において、税理士による国会議員の後援会が新たに設立されました。現在近畿では43の税理士による後援会があり、税政連活動を支える基盤は、後援会活動にあります。平素から積極的に国会議員の方々と接触し懇談会や意見交換をおこなっていただくことが、税政連の力を高めるとともに活性化に通じるものもあります。

税政連は、今後予定される税理士法の改正について、納税者の立場に立ち、そして税理士業界発展のため、税理士会、税理士による国会議員等後援会が連携して建議、要望の実現に向け、積極的な活動を進めてまいります。

輝かしい未来のため、そして社会に役立つ税理士制度と申告納税制度の発展のため、執行部一同努力してまいります。会員各位には変わらぬご理解と絶大なるご支援をお願いし、併せて税政連活動、後援会への積極的なご参加を重ねてお願い申し上げます。

皆様にとって今年も最良の年でありますよう祈念申し上げ、ございさつといたします。



久保直己 会長



焦点	1	第7回川柳・書道コンテスト入賞作品	8
年頭のことば	2	第7回川柳・書道コンテスト	
後援会ニュース	3	表彰式・懇親会開催	10
一斉陳情	4	かんさいすずめ	11
大臣・副大臣就任表敬訪問	5	銀河系	11
委員会紹介	6		

## 後援会ニュース

### 原田憲治後援会

開催日 令和元年10月11日

場 所 千里阪急ホテル

来 賓 原田 憲治 衆議院議員

久保 直己 近税政会長

田 達満 近税政幹事長

仲 猛夫 大阪府第3支部連会長

森田 茂穎 大塚高司後援会会长



総会では議長に金山薰章副幹事長が選任され、議案審議に入り、川口純司幹事長より説明があり、全ての議案が可決承認された。

引き続き原田議員より、単一税率の維持が実現できず誠に申し訳なかった。導入予定のインボイス方式については、要望を実現できるように積極的に発言していきたい。

また、台風災害の観察で千葉に行き実態を見てきた。自衛隊員に電気工事の資格がないため倒れた鉄塔の復旧や電線の絡んだ木の伐採などができなかった。この現状を報告した結果、経産大臣と防衛大臣より、電気が通っていないれば、自衛隊でも復旧活動が可能であるとされた。

さらに、防衛副大臣時には、オスプレイ暫定配備の要請や諸島防衛のため自衛隊南西諸島配備の交渉などをしてきた。とくに奄美大島では出發式に防衛省を代表して出席し島民から多くの感謝のことばをいただいた。今後は、北朝鮮のミサイルの脅威などの防衛上の問題について臨みたいとの報告があった。(豊能支部 山下肇)

### 前原誠司後援会

税理士による前原誠司後援会の総会が、台風19号が接近する10月12日、ハイアットリージェンシー京都において開催された。来賓として、前原誠司衆議院議員、近税政より久保直己会長、原綱宗副会長、近税政京都府支部連より北尾剛久会長が出席した。

中川勉事務局長の司会で開会し、吉澤俊二会長から、後援会活動へのお礼と、税政連のよき理解者である前原議員をこれからも全力で応援していくとのあいさつがあった。



吉澤会長より前原議員に建議書が手渡され、総会議案も滞りなく可決承認された。久保近税政会長、北尾支部連会長のあいさつの後、前原議員より国政報告がおこなわれた。

財政関係では消費税率引き上げと軽減税率が導入されてしまった。金融所得課税とマイナンバー制度の活用により資産・所得に応じた課税と低所得者には給付付き税額控除の導入を検討する必要がある。税にかかわる分野は、やはり専門家である税理士の意見を聞き要望に応えていく。その他にも、憲法改正論議や、日米貿易交渉、さらに北朝鮮問題などに触れ、二大政党制に向けこれからも時代の変化に対応した政策を展開していくと述べた。

原近税政副会長の乾杯で意見交換会が始まり、前原議員は各テーブルを回り、親しく意見交換をおこなった。 (下京支部 吉田和之)

# 一 斉 陳 情

～令和 2 年度税制改正で協力要請～

## ○令和 2 年度税制改正要望最重点項目○

- ・消費税における単一税率及び請求書等保存方式を維持すること
- ・基礎的な人的控除のあり方を見直すとともに、所得計算上の控除から基礎控除へのシフトを進めること
- ・「災害損失控除」を創設するとともに、相続時精算課税制度における受贈財産が災害等により損失を受けた場合の救済措置を設けること

令和元年11月5日、国会議員を訪問し、一斉陳情をおこなった。日税連・日税政が取りまとめた令和2年度税制改正要望項目が実現できるように協力を求めた。

(陳情先国会議員は写真の通り、訪問順)



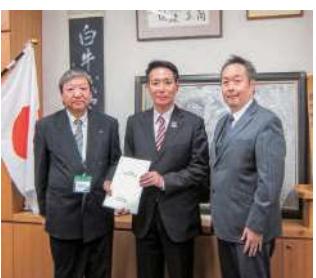
とかしきなおみ 衆議院議員



竹本直一 衆議院議員



安藤 裕 衆議院議員



前原誠司 衆議院議員



西田昌司 参議院議員



岸本周平 衆議院議員



平野博文 衆議院議員



松本剛明 衆議院議員



高市早苗 衆議院議員



渡海紀三郎 衆議院議員



大串正樹 衆議院議員



杉 久武 参議院議員



本田太郎 衆議院議員



左藤 章 衆議院議員



北側一雄 衆議院議員



松川るい 参議院議員



中山泰秀 衆議院議員



佐藤ゆかり 衆議院議員



福山哲郎 参議院議員



原田憲治 衆議院議員



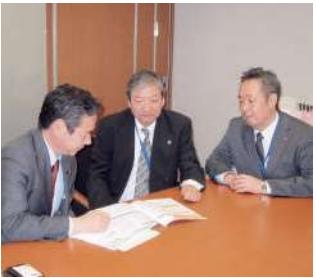
泉 健太 衆議院議員



伊藤孝江 参議院議員



盛山正仁 衆議院議員



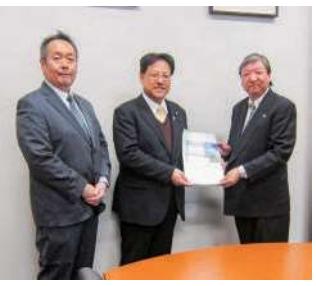
こやり隆史 参議院議員



大塚高司 衆議院議員



堀井 嶽 参議院議員



関 芳弘 衆議院議員



石田真敏 衆議院議員

## 大臣・副大臣就任表敬訪問

9月27日、第4次安倍第2次改造内閣において、大臣・副大臣に就任した当連盟推薦国会議員を表敬訪問した。今後ますますのご活躍を期待するとともに、会員の皆様には力強いご支援を頂戴したい。



高市早苗 総務大臣



竹本直一 IT政策担当大臣



西村康稔 経済再生担当大臣



佐藤ゆかり 環境副大臣

## 本部 6 委員会の紹介

### 政策委員会

政策委員会は、令和元年度運動方針・委員会方針に沿って、基本政策の企画・立案をおこなってまいります。また、日本税理士政治連盟及び近畿税理士会との連絡調整を図り、会員に税政連活動への理解・協力をよりいっそう深めていただけるよう、他の委員会と連携しながら活動をしていく所存でございます。

これからの 2 年間、万里一空の境地で我々の組織力を高め強固なものにしていくために政策委員会の委員一丸となって、会員一人一人に税政連活動の目的と必要性について地道に伝え、



税政連の輪を広げていきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。

(政策委員長 道廣友厚)

### 財務委員会

財務委員会は、財政の確立強化と健全な運営を図ること、会費収納の向上のための諸施策を検討・実施することを活動方針としています。

前年度は会費収納率が前々年度に比較して低下してしまいました。会費収納率の向上は各単位税政連とも非常に苦心しているところです。また本年度は財政の支出面についてもさらに検討していく予定です。他の委員会にもご協力をお願いし、これらの問題に強力に取り組んでまいりたいと思います。また、口座振替およびコンビニ収納の周知を図り、その効果が十分に発



揮されるよう普及定着に努力していきますので、会員の皆様のご協力をよろしくお願ひいたします。

(財務委員長 山本眞市)

### 組織委員会

組織委員会は、諸規定の整備を通じて内部規律を高め、組織の充実を図り、より強固な組織を確立してまいります。特に、今期においては組織変更があったことにより、支部連規約及び支部規約においても条文改正をしていただく必要が生じております。すべての支部連及び支部の規約を集約し改正後に正確に対応できているか管理していく予定です。

また、組織の活性化を図るために、当連盟ならではの会員研修会を企画してまいります。同時に一人一人の会員に税政連会員であることを



認識していただけるよう施策を検討し実施してまいります。

(組織委員長 小寺隆弘)

## 国対委員会

国対委員会は、今期より選対委員会と組織統合されました。当委員会は国会議員対策を樹立して請願・陳情といった具体的運動を実施し、税理士会による税制改正建議・要望の実現に向けた活動をおこないます。また国会議員等の選挙において推薦候補者に対する応援体制を確立し、支援活動を展開してまいります。

旧国対・旧選対の委員会統合を契機として、『陳情』と『選挙支援』をより効率的に実施できるように毎年2回（4月と10月）の定例委員会の開催を決定しました。また、近税政本部と



支部連・支部を通じて各会員との強い連携を図るために、新しい仕組みを構築していきたいと考えております。（国対委員長 長谷川隆史）

## 後援会対策委員会

後援会対策委員会は、近税政にある43の支援後援会について、議員の紹介や活動内容などを機関紙に掲載する。また、各後援会が「税理士による国会議員等後援会の支援に関する規程」の要件を満たしていない場合には、規程を達成するよう指導していきたい。そして、日税政後援会対策委員会で令和2年1月に実施予定のアンケートに基づき、抱える問題点を確認し、より活発な後援会活動が出来るよう応援したい。

近税政の会費収納率向上のため、会員の会費納入を後援会会長などを通じて強く働きかけて



いきたい。今後とも、後援会対策委員会の活動にご協力をお願いいたします。

（後援会対策委員長 室谷澄男）

## 広報委員会

広報委員会は、令和元年度運動方針・委員会方針に則り、近税政が具体的にどのような活動をしているかを会員の皆様に知っていただくために機関紙「近畿税政連」を年7回発行する。

近税会の会報に同封している機関紙を、読まずに捨てられないように興味を持って読んでいただけるような紙面づくりに努力していく所存である。今年も川柳・書道コンテストを開催しますので、今まで以上に多くの会員にご応募をいただきたい。現在、後援会を組織している議員を紹介する貢の企画やもっとホームページを



活用する方法を議論している。今後も各定期大会の取材などでお世話になりますがご協力をお願いいたします。（広報委員長 矢田善久）

募集期間平成31年1月1日～令和元年6月14日

**第7回 川柳・書道コンテスト**

**書道コンテスト テーマ部門 テーマ／近畿税政連・焦点**

**最優秀会長賞 小川由美子 生野支部**

※本号(245号)から「表紙」題字になりました。

受賞者発表（敬称略）

※本号(245号)から「焦点」題字になりました。

**優秀賞 吉原 淑美 東成支部**

**入選 山下 肇 豊能支部**

**入選 古川 裕 吹田支部**

**書道コンテスト 硬筆部門**

**最優秀会長賞 関谷 洋子 豊能支部**

**優秀賞 真鍋 光廣 泉佐野支部**

**入選 藤原 洋子 福知山支部**

**入選 根末 和夫 泉佐野支部**

國	た	税	義	制	な	門	税
る	納	に	務	度	立	家	理
こ	税	関	者	の	場	と	士
と	義	す	の	理	に	し	は
を	務	る	信	念	お	て	、
使	の	法	頼	に	い	、	税
命	適	令	に	そ	て	独	務
と	正	に	こ	つ	、	立	に
す	な	規	た	て	申	一	關
る	実	定	え	、	告	た	す
・	現	さ	・	納	納	公	る
を	れ	租	税	税	正	正	專

國	た	税	義	制	な	門	税
る	納	に	務	度	立	家	理
こ	税	関	者	の	場	と	士
と	義	す	の	理	に	し	は
を	務	る	信	念	お	て	、
使	の	法	頼	に	い	、	税
命	適	令	に	そ	て	独	務
と	正	に	こ	つ	、	立	に
す	な	規	た	て	申	一	關
る	実	定	え	、	告	た	す
・	現	さ	・	納	納	公	る
を	れ	租	税	税	正	正	專

國	た	税	義	制	な	門	税
る	納	に	務	度	立	家	理
こ	税	関	者	の	場	と	士
と	義	す	の	理	に	し	は
を	務	る	信	念	お	て	、
使	の	法	頼	に	い	、	税
命	適	令	に	そ	て	独	務
と	正	に	こ	つ	、	立	に
す	な	規	た	て	申	一	關
る	実	定	え	、	告	た	す
・	現	さ	・	納	納	公	る
を	れ	租	税	税	正	正	專

**書道コンテスト**  
自由部門

賞	受賞者	所属支部
最優秀会長賞	黒石 健弘	北支部
優秀賞	吉田 廣彰	葛城支部
入選	藤原 洋子	福知山支部
入選	森本 幸子	西宮支部
令和	東 智之	上京支部 <small>入選</small>

**川柳コンテスト**

賞	受賞者	所属支部	内容
最優秀会長賞	津留 真弓	泉佐野支部	税制の 将来託す 税政連
優秀賞	仕田原 恒雄	住吉支部	国背負い 税も叫んでみたかろう
入選	高岸 直久	茨木支部	令和でも 大事な税は 消費税
入選	松岡 久枝	茨木支部	心では すぐに食べたい 持ち帰り
広報委員長特別賞	高田 哲三	東大阪支部	この会費 明るい税制 第一步

## 第7回川柳・書道コンテスト表彰式・懇親会開催

令和元年9月13日、大阪キャッスルホテルにて『第7回川柳・書道コンテスト』の表彰式および懇親会が開催された。当日は、受賞者と主催者側の役員、外部審査員が集まつた。

コンテストにおける応募点数は総数182点(内訳:川柳43点、書道テーマ部門50点、書道自由部門54点、書道硬筆部門35点)であった。その中から厳正な審査を経て、最優秀会長賞・優秀賞・幹事長特別賞・広報委員長特別賞が選ばれた。会場内では第53回定期大会でも展示された川柳と書道の受賞作品が掛けられた。

表彰式では、はじめに久保直己会長があいさつした後、外部審査員である川柳作家の大西泰世先生(川柳)と書道家の丸橋正光先生(書道)が紹介された。引き続いて、久保会長から受賞者に対して賞状と記念品が授与された。表彰式の後、審査員の方々から作品に対する講評が一点ずつおこなわれた。



昼食を囲んだ懇親会では、受賞者一人ずつ登壇し、応募動機や経緯そして応募作品への想いを述べた。受賞者のエピソードを聞いて出席者は和やかな雰囲気に包まれた。今回で7回目のコンテストであったが、近畿税理士政治連盟の意義と活動内容を改めて内外に周知する機会となった。最後に、後安宏彦副会長のお礼のあいさつにより閉会となった。

# 税務便覧

令和元年分 確定申告のための 確定申告業務の必携アイテム



- ① 確定申告業務に必要な事項がコンパクトに収録されています。
- ② 収録項目を縦覧しやすいように見開き型を採用しています。
- ③ 見やすさを追求したカラー印刷です。
- ④ 最新の税制改正に対応

### わかりやすい

**所得税・贈与税・消費税・  
住民税・事業税の申告  
及び**

**相談業務を迅速かつ  
的確にサポート!!**

監修:日本税務会計学会 税法部門副会長

税理士 宮森 俊樹

A4判・総14頁 定価 420円(税込)

出版元 京都税理士協同組合

〒604-0943 京都市中京区麿屋町通御池上ル上白山町258-2

TEL 075-222-2311 FAX 075-222-2355

## 一病息災

糖尿病と診断されて30年近くになる。糖尿病の怖さは、自覚症状がなく治療せず放置していると合併症を引き起こすことである。「しめじにえのき?」という言葉がよくあるくらい多くの合併症を引き起す。神経の症状、目の症状、腎臓の症状、認知症、壊疽、脳卒中、虚血性心疾患の頭文字をとって「しめじにえのき」である。これらの合併症は、高血糖状態が長期間続くと発症する。

したがって糖尿病の治療は、これらの合併症が出ないように血糖値をコントロールすることである。血糖値のコントロールと簡単に言うが、これがなかなか大変である。食事療法は誘惑が多いし、運動療法は継続がむずかしく、薬物療法は副作用が心配である。これらをうまく組み合わせて血糖値をコントロールしなければならない。40才代までは食事と運動でコントロールできた。50才代になってこれらではコントロールできなくなり薬物が追加された。医師から新薬をすすめられたら拒まないことにしている。投薬で血糖値のコントロールを適切におこなえば合併症を予防できるのだから当然のことである。

本当かどうかわからないが、ひとさんは糖尿病の人の寿命は、健康な人に比べ10年ほど短いと言われていた。エビデンスに基づくデータでは、米学会誌に投稿された2万人以上を追跡調査した結果がある。糖尿病をもつ人はそうでない人に比べて、4.6年早く死亡するというのだ。しかし、医療は日々進歩しており適切な治療を続けていれば健康な人と変わらない生活の質を維持しながら天寿を全うすることは可能らしい。定期的に病院にかかり血糖値を意識した生活をおくっていることもあり「しめじにえのき」はまだ大丈夫なようである。2018年の日本人の男性平均寿命は、81.25歳らしい。一病息災で平均寿命+ $\alpha$ を全うしたいものである。



(豊能支部 山下 肇)

## 近税政本部のうごき

### ○第3回広報委員会(11月6日)

- ・機関紙第243号(10月号)の批評
- ・機関紙第244号(12月号)の編集に関する件
- ・機関紙第245号(新年号)の編集企画に関する件  
他

### ○支部長・支部連会長・後援会会长連絡会議(11月8日)

- ・令和2年度の税制改正要望について
- ・後援会活動のあり方について 他

### ○第2回組織委員会(11月12日)

- ・支部連規約の改正について
- ・会員研修会の開催について 他

### ○第2回後援会対策委員会(11月14日)

- ・後援会の設立・運営状況について
- ・税制改正要望について 他

### ○第2回政策委員会(11月15日)

- ・委員会の課題と対策及び今後の活動について
- ・税制改正要望について 他

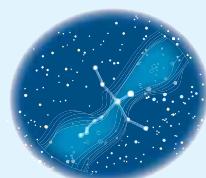
### ○第2回国対委員会(11月21日)

- ・確定申告期における税務支援業務の視察について
- ・衆議院議員総選挙に向けての対策について 他

### ○第2回財務委員会(11月27日)

- ・委員会の課題と対策及び今後の活動について
- ・会費収納率の向上策について 他

## 銀河系



私の近隣で長年おこなわれてきた阪神電車の高架化工事が進み、昨年11月末には上り線・梅田方面も高架線路を走り始め、最寄りの青木・深江駅は、令和の時代に相応しい新しい駅としてスタートした。この工事は都市計画事業として神戸市が主体となり、阪神淡路大震災前から進められてきた。約10年前に大きな工事が始まり、4年前には先に下り線・神戸方面が高架へ切り替わり、上り線・梅田方面はいつ切り替わるのかと待ち遠しい日々であった。これで開かずの踏切が撤去され、交通渋滞が緩和、駅のバリアフリー化による利便性向上を期待する。また、駅周辺のまちづくりについても協議が進んでいる。これらは行政主導ではなく、地域住民や企業が身近な暮らしに関して協議を重ねるべきであり、また「まちづくりと政治」というように、政治への関心を持つアプローチとなるよう期待したい。

(芦屋支部 吉田智代)

「表紙」題字：第7回川柳・書道コンテスト書道テーマ部門 最優秀会長賞(作=小川由美子 生野支部)

「焦点」題字：第7回川柳・書道コンテスト書道テーマ部門 優秀賞 (作=吉原 淑美 東成支部)



明けましておめでとうございます。

本年も何卒よろしくお願ひ申し上げますとともに  
組合員及び賛助会員の皆様のますますのご発展をお祈り申し上げます。

2020年

## 大阪・奈良税理士協同組合

理事長 松本 圭一

副理事長 吉本 利夫 藤本 純 森田 務 永橋 利志 小市 哲男

専務理事 山村 典之 吉村 正浩

常務理事 伏木 誠 根來 直代 榊山 京子 岡本 恒彦 古川 裕 斎藤 良介 林 典男

〒540-0012 大阪市中央区谷町1-5-4 (近畿税理士会館11F) TEL (06) 6941-6888/FAX (06) 6947-2800

<http://www.hanna-zeikyo.jp>